

道徳

児童 くわのみ2組 4学年1名 6学年4名 計5名

授業者 塚田 直基

【創出していく子どもとしてねらう姿】

本学級の児童は、4年生男子1名、6年生男子4名で構成されている。それぞれが交流学級に所属し、これまで学習活動及び行事に参加してきた。年度当初は、交流学級での活動に対して緊張感や抵抗感を露わにし、行き渋る姿も見られていたが、交流活動を進めるにあたり本学級の児童から交流学級での活動に対して前向きな言葉が見られるようになってきた。

その背景には、まず、本学級の児童が緊張感を乗り越えて交流学級の活動に参加しようとしたことがあげられる。これまでの行事ごとでの本学級における振り返りの時間では、「友達をたくさん作った」「頑張った」という自身の努力に基づいた発言が多くみられた。その一方で、もう一つの背景として交流の友達の温かな言葉かけや思いやりの溢れる行動もあることに、まだ目は向いていない。

そこで本主題では、「仲間意識」について考え直し、友達のもつ思いやりの気持ちに気づき、「仲間意識」を広げていく構成としたい。第1時では、特別支援学級の友達全員を改めて仲間として捉え直した。仲の良い友達だけが友達ではなく、色々な友達が自分の周りにはいて、みんなが仲間であるということに気付くことが出来た。

本時では、主人公「みつお」への関わりを考えることを中心発問とする。「みつお」を自身と重ね合わせることで、これまで自分に交流学級の友達がかけてくれた言葉かけ、行動が基となった発言を導きたい。そして、自分の交流での活動を改めて振り返る。そこで児童にねらう姿は、特別支援学級の友達以外のたくさんのおとも、児童自身に「仲間意識」をもって関わっていることと、その温かさに気付く姿である。本時を今後の小学校生活、及び中学校生活において、特別支援学級の児童も交流学級の児童も、「同じ仲間」として、双方が思いやりの気持ちをもって関わり合える心情を育てていくきっかけとしたい。

【視点① 子どもが考えることを楽しめる授業構成】

(1) 自分事として捉えやすい資料の作成・提示

本学級の児童が資料を自分事として捉えやすいように話の構成や主人公の悩みを本学級の児童により近いものとした。また、「主人公を笑顔にするためにどのようにしたらよいか」と問いかける。主人公に児童自身を重ね合わせることで、交流学級で様々な活動に参加した時につけられた言葉やしてもらった行動など、児童の経験が生きた意見を引き出すことが出来るようになる。

(2) 課題を2分割にした授業構成

資料の内容をより押さえるために、読書の時間を活用して資料の前半部分を読み取り、主人公の悩みをじっくりと捉えられる時間を設定した。それにより、本時における資料に対する状況把握の量を減らすことができ、本時の発問についてより深く考えることが出来るようになる。

【視点② 子どもが新しい価値に迫るための教師の関わり】

(1) 紙芝居を活用した授業・板書構成

児童が場面の状況および登場人物の表情や感情を捉えやすくするために本時では紙芝居を使って指導を行う。また、板書にも紙芝居を活用し、「どの場面で何を問うているのか」や話の展開を児童自身がいつでも確認することが出来るようにする。

(2) 実態に応じた、意思表示を促すワークシート

本学級の児童は意思表示の実態が様々である。そのため、実態に応じて、ワークシートの形式を異なるものとした。本時の内容を通して、児童が自身の経験を思い出し、それをワークシート上に示すことで、日常生活に返った時の行動につながりやすくなるように考える。

評価規準

友達と互いに理解し，信頼し，助け合う。

主題構成(2時間扱い)

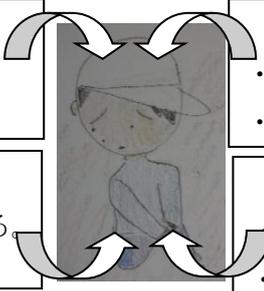
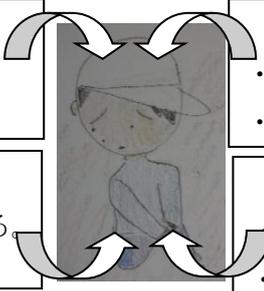
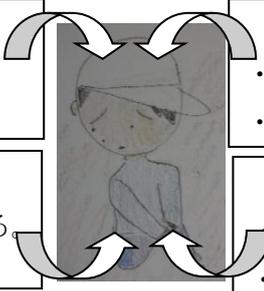
時	子どもにとっての新しい価値	学習活動と主な子どもの思考の流れ
1 読書の時間		まいちゃんはどうしてドッジボールが楽しかったのかな
		いろいろな友達と遊ぶのが楽しかった
		さっちゃんと遊べた
		友達が増えたから
		僕の周りにいる友達は、みんな仲間なんだ。
		5月5日の内容を紙芝居で押さえ、光夫の気持ちに寄り添って考えられるように導く。
		みつおはどうして練習に行きたくないのかな。
		いつも自分のせいで「大縄跳び」負けてる。
		苦手、自分のせいで、負けたくない
		水泳、かけっことても苦手。
2 本時		頑張っているのにうまくいかないことってないかな。
		頑張ってもうまくいかないと不安な気持ちになるよね。
		どんなことをしてもらったら光夫は練習に参加できたかな
		今日は頑張ろう！
		手を引いて連れて行ってくれたら。
		笑顔で話しかけてくれたら。
		皆が考えたことがあれば、光夫は練習に参加できたかもしれないね。
		みんなも交流に行って、似たようなことはないかな。
		交流学級にも仲間はあるんだね。
	交流活動・進級進学 の関わり	
		残り少しだけど、交流をもっと楽しもう。
		交流の活動にもっと参加したいな。
		交流学級の友達からのビデオレターor お手紙を見て、返事を書いてみよう。
		残り少しだけど、これからもよろしくね。
		〇〇の時は、△△してくれてありがとう。とてもうれしかったよ。
		いつも挨拶してくれてありがとう！
		6年生：中学校進学に向けて
		4年生：5年生への進級に向けて
		中学校で新しく出会う友達と仲間になりたいな。
	同じ仲間がいるから、中学校に行くのが楽しみだ。	
	新しい交流のクラスで出会う友達とも、みんな仲間になりたいな。	
	新1年生も仲間として温かい言葉をかけてあげたいな。	
	進学を楽しみにする思い 中学校に行っても、仲間がいる！	
	進級を楽しみにする思い 僕の周りには仲間がいる	

本時案(2/2)

本時の目標

- ・「同じ仲間」という思いやりの気持ちを友達がもっていることを確かめ、今後の交流の活動を前向きに考え、交流の友達やくわのみ学級の友達とどのように関わっていくかを考えようとする心情を深める。(A)
- ・みつおがかけて欲しい言葉、行動を考える活動を通して、思いやりの気持ちに囲まれて自分が成長してきたことを感じ、「同じ仲間」であるという意識をもとうとする心情を深める。(C、D)
- ・みつおがかけて欲しい言葉、行動を考える活動を通して、「同じ仲間」として交流の友達をとらえ、仲間と共に卒業、進学することを楽しみに考えようとする心情を深める。(B、E)

本時の学習展開の構想

学習展開と主な子どもの思考の流れ	教師の関わり								
<p>○資料5月10日の話の内容を振り返る ○資料5月11日の読み聞かせ(紙芝居)を聞く。 ○話の内容を整理する。</p> <p>どうしてみつおは練習をずる休みしたんだろう。</p> <p>不安 俺のせいで負けるから。 苦手</p> <p>どんなことがあれば、みつおは笑顔になるかな？</p> <table border="1" data-bbox="119 1041 1141 1332"> <tr> <td data-bbox="119 1041 526 1187"> <p>やさしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも頑張ってるね。」 ・にこにこしている表情で </td> <td data-bbox="526 1041 710 1332" rowspan="2">  </td> <td data-bbox="710 1041 1141 1187"> <p>はげまし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落ち込まなくてもいいよ」 ・「(跳ぶのを)頑張れ！」。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="119 1187 526 1332"> <p>しんせつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄を回す役割にしてくれる。 ・跳び方を教えてくれる。 </td> <td data-bbox="710 1187 1141 1332"> <p>いっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょにやろうよ。」 ・「みんなで勝とうよ。」 </td> </tr> </table> <p>この気持ちがあれば、光夫は笑顔になって、次の練習に参加できるかもね</p> <p>みんなも交流に行つて似たようなことってなかったかな？</p> <table border="1" data-bbox="135 1489 1077 1680"> <tr> <td data-bbox="135 1489 446 1601"> <p>困っている時に教えてくれた。</p> <p>やさしさ</p> </td> <td data-bbox="446 1489 758 1601"> <p>いつもプリントを持ってきてくれる。</p> <p>はげまし</p> </td> <td data-bbox="758 1489 1077 1601"> <p>お楽しみ会に誘いに来てくれた。</p> <p>いっしょ</p> </td> </tr> </table> <p>くわのみの友達 ← 同じ仲間!! → 交流の友達</p> <p>交流学級にいる友達も同じ仲間なんだね。</p>	<p>やさしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも頑張ってるね。」 ・にこにこしている表情で 		<p>はげまし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落ち込まなくてもいいよ」 ・「(跳ぶのを)頑張れ！」。 	<p>しんせつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄を回す役割にしてくれる。 ・跳び方を教えてくれる。 	<p>いっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょにやろうよ。」 ・「みんなで勝とうよ。」 	<p>困っている時に教えてくれた。</p> <p>やさしさ</p>	<p>いつもプリントを持ってきてくれる。</p> <p>はげまし</p>	<p>お楽しみ会に誘いに来てくれた。</p> <p>いっしょ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを行い、5月10日の資料の内容を事前に押さえさせておく。 ・紙芝居を読み聞かせながた板書に掲示し、場面理解の補助とする。 ・光夫の不安な気持ち、苦手な思いを基に嘘をついて、ずる休みをしてしまったことを理解できるように導く。 ・光夫がかけてほしかった言葉やしてほしかった行動を、子どもたちの経験から想像できるように促す。 ・児童の発表それぞれに切り返し、どの気持ちが根底にあるかを明らかにしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の友達で出てきそうな児童の顔写真を用意し、掲示していく。 ・前時の振り返りシートと本時の振り返りシートの一部を共通のものとし、交流学級にいる友達とくわのみの友達がどちらも「同じ仲間」であることに視点が向くように促す。 (交流学級全員へは、次時以降仲間意識の範囲を広げていく関わりを行う)
<p>やさしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも頑張ってるね。」 ・にこにこしている表情で 			<p>はげまし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落ち込まなくてもいいよ」 ・「(跳ぶのを)頑張れ！」。 						
<p>しんせつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄を回す役割にしてくれる。 ・跳び方を教えてくれる。 		<p>いっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょにやろうよ。」 ・「みんなで勝とうよ。」 							
<p>困っている時に教えてくれた。</p> <p>やさしさ</p>	<p>いつもプリントを持ってきてくれる。</p> <p>はげまし</p>	<p>お楽しみ会に誘いに来てくれた。</p> <p>いっしょ</p>							
<p>○振り返りワークシートに記入(「」内は振り返りでの発問)</p> <p>A:「これからあなたのまわりにいる仲間と、どのように関わっていきたいですか。」</p> <p>C、D:「あなたのまわりにいる仲間をたくさん書いてみよう。」</p> <p>B、E:「あなたのまわりにいる仲間がかけてくれた言葉やしてくれたことで、あなたが笑顔になったのは、どんなことですか。」</p>									